

福島県総合計画改定素案(たたき台)などに対する意見対応
【部会(審議会)委員】

資料 2

No	意見者	該当箇所	意見内容	対応
1	長澤委員	全体	【6/14部会にて】 県民に示す計画であれば、もう少し県民目線で分かりやすい文章で編集してもらいたい。	【参考意見として承ります】 中間整理案を編集する過程で、留意させていただきます。
2	渡邊委員	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 全体	「…しかし、…」を使って文章をつなげている箇所は、適切でないと思われる所や、もっと震災・原子力災害に関する文章を考えるべきである。	【参考意見として承ります】 中間整理案を編集する過程で、留意させていただきます。
3	塩谷委員	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 ふくしまの歴史 改定素案たたき台 6ページ	凶作や飢饉の話がここに入るのは違和感がある。7頁以降のほうがよい。	【修正します】 食料問題の解決は、約60年前までの国土開発の主要なテーマであったため、以下のとおり文章内容を修正し、前後のつながりを改善します。 「一方で、江戸時代から昭和初期にかけて、度々凶作や飢饉が発生し、生産力が停滞するとともに社会不安が高まりました。」
4	塩谷委員	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 ふくしまの歴史 改定素案たたき台 8ページ	「昭和46(1971)年に福島第一原子力発電所、その後、福島第二原子力発電所が運転を開始しました。」 → 東京電力第一(第二)福島原子力発電所 ほかの箇所は「東京電力」が入っている。	【参考意見として承ります】 正確な表現は、ご指摘のとおりですが、読みやすい内容に編集すべきといった意見もあることから、中間整理案を整理する過程で、読みやすい内容で表記を統一します。
5	渡邊委員	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 ふくしまの歴史 改定素案たたき台 9ページ	「東京電力福島第一原子力発電所事故により、16万人以上の県民が避難生活を余儀なくされています。」 → 県内・県外への避難県民の数は、常に変化・変動している数であり、今後、市町村単位での国からの指示などを考えると、16万人以上の表現は適切だろうか。	【修正します】 ご意見を参考に、以下のとおり修正します。 「東京電力福島第一原子力発電所事故により、16万人以上の県民が避難生活を余儀なくされました。」

No	意見者	該当箇所	意見内容	対応
6	山田委員 (瀬谷委員)	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 ふくしまの特性 (3)東北圏と首都圏の結節点 改定素案たたき台 12ページ	【6/14部会にて】 ①「企業立地、交流人口の拡大を図る上で、有利な地理的条件を有しています。」 → 物流や観光など文章に厚みを加えるべき。 ②「しかし、結節点に位置するために、様々な分野で、隣接する地域との厳しい競争に直面しています。」 → やや意味が分かりにくいのではないか。	【修正します】 ふくしまの特性では、課題や取組の方向性に近い内容は、可能な限り記述しない方向で整理させていただきます。 ご意見を参考に、以下のとおり修正します。 本県は、東京から約200km圏の位置にあり、約4,200万人の人口を有する首都圏に隣接しています。 今後発展が見込まれる東北圏と、我が国の政治・経済・文化の中心である首都圏の結節点に位置しているとともに、太平洋に面しつつ、高速道路の整備などにより日本海側とも結ばれています。いることから、企業立地、交流人口の拡大を図る上で、有利な地理的条件を有しています。 本県は、東北圏・首都圏それぞれと密接に関係しながら発展しており、近年では北関東・磐城地域における連携など、広域連携の取組みが行われています。 しかし、結節点に位置するために、企業誘致など様々な分野で、隣接する地域との厳しい競争に直面しています。また、首都圏などへのストロー現象も懸念されています。
7	渡邊委員	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 ふくしまの特性 (4)交流・産業を支える社会基盤 改定素案たたき台 13ページ	「さらに、本県は、水力、火力、原子力などの発電所が多数立地する我が国最大の発電県であり、本県の発電量は東北電力(株)管内の総発電量の5分の1程度、東京電力(株)管内の4分の1程度を占めていました。」 → 福島県の現状から、発電所に対する文章表現をもっと慎重に考えなければならない。	【参考意見として承ります】 客観的な事実(数値)に基づいて記載された内容であるとともに、記載内容が、特段県民感情を刺激する内容であるとは考えられないため。
8	渡邊委員	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 ふくしまの特性 (5)多様な産業構造 改定素案たたき台 14ページ	震災前、21年度と現在そして今後は大きな変動があるのだから、震災被害に対する福島県施策を文章に盛り込むべき。	【参考意見として承ります】 原案の「しかし、東日本大震災などにより、多くの産業が被害を受けており、既存の産業の再生と、新たな活力の源となる産業の振興が課題となっています。」において、ご意見の趣旨は反映されていると考えます。 震災後の県の施策(復興計画など)については、本計画の施策として第4章に整理させていただきます。
9	塩谷委員	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 ふくしまの特性 (7)ゆとりある生活環境と温かな県民性 改定素案たたき台 16ページ	「温かな県民性」だけでよいのか？ 震災後、東北人の「我慢強さ」が美德として賞賛されたが、一面的な評価のように感じる。いまの福島県民は、行政や企業に対しても臆するどころなく異議申し立てを行っている(たとえば、文科省に対する保護者の要望など)。	【参考意見として承ります】 ご意見のとおり県民性については多面的な見方が可能ですが、ここでは、ゆとりある生活環境と並ぶものとして、県民性の温かさを整理させていただきます。
10	山田委員 (瀬谷委員)	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 時代潮流 (1)人口減少・高齢化 改定素案たたき台 18ページ	【6/14部会にて】 「福島市、郡山市、いわき市などの生活圏の中心都市においても、人口流出が続いており、都市の求心力と活力が低下しています。」 → 裏付けを示す必要がある。内在する要因、分析、対応策など表現の工夫も必要。	【修正します】 ご意見の趣旨は、第3章・第4章一人と地域(4)まちづくりにおいて整理させていただきます(61ページのグラフなどを参照願いたい。)

No	意見者	該当箇所	意見内容	対応
11	塩谷委員	第2章 ふくしまをめざす将来の姿 全体	全体的に見て、第3章の文章との整合性がとれていない箇所がある。	【修正します】
12	塩谷委員	第2章 ふくしまをめざす将来の姿 基礎と3本の柱 改定素案たたき台 42ページ	【6/14部会にて】 「本県では、平成21年12月に本計画を策定した際、人と地域、活力、安全と安心、思いやりを県づくりの視点と位置づけました。その後の社会経済情勢の変化、東日本大震災の発生によっても、これらの県づくりの視点の重要性は不変であると考えられます。」 → 震災によって「人と地域」の重要性は高まっている。文章のつなげ方に工夫が必要である。	【修正します】 ご意見を踏まえて、以下のとおり修正します。 本県を取り巻く社会経済情勢が大きく変化する中で取り組むべき課題は、本計画で進めてきた「人と地域」「活力」「安全と安心」「思いやり」の視点に基づく県づくりを強力な手段で進めていくことによって、本県の衰退を回避するとともに、復興・再生を図ることであり、これらの県づくりの視点は、これまでも増して重要性が高まっていると考えられます。
13	塩谷委員	第2章 ふくしまをめざす将来の姿 目指す将来の姿 出産・子育ての視点 改定素案たたき台 44ページ	「子育て世代に優しい社会が実現するとともに、多様な生き方が社会に受容されています。地域社会は、子どもの明るい笑顔と活気にあふれています。」 → 「多様な生き方」とは何を指すのか？ 「一人親家庭」や「未婚」も含むのか？ 44頁を読むと、「結婚＝出産」を進めようとしているようにみえる。	【参考意見として承ります】 人と地域(1)は人口減少問題への対応を強化する視点から設定した政策分野であり、ご指摘の箇所は、一人親家庭、事実婚などに対する偏見が無くなって、社会に当たり前のように入容されている状態 といった趣旨で記載しております。
14	久保委員	第2章 ふくしまをめざす将来の姿 目指す将来の姿 文化・スポーツ、活躍の場づくりの視点 改定素案たたき台 44ページ	「県民は文化・芸術・スポーツ活動を日常的に親しみ、本県は先進的な文化・芸術・スポーツ活動の発信拠点となっています。また、若者や高齢者が、社会の主役として活躍しています。県民は人生を楽しみ、生活に幸福を実感しています。」 → 「若者や高齢者が、社会の主役として～」とありますが、若者や高齢者だけではなく、全ての世代の人びとが社会の主役として活躍できる場づくりが方向性として必要なのではないでしょうか。②「若者や高齢者」以外の層の人びとも、仕事等に時間をとられ、ここで上げられているような文化、スポーツ等が日常生活のなかに根付いたものになかなかならないような側面も課題としてあるように思います。そういった人びとも含み、生活を豊かにすることを目指すということだと思います。	【参考意見として承ります】 本県では、長年、若年層の県外流出が続いており、近年はその傾向がさらに深刻さを増していることから、若者の活躍の場づくりは重要な視点と考えられます。また、「高齢者の活躍の場づくり」は、現行計画で当該政策分野に整理されております。 「全ての世代の人びとが社会の主役として活躍できる場づくり」とした場合、問題の重要性を希薄化してしまうことが懸念されます。
15	塩谷委員	第2章 ふくしまをめざす将来の姿 目指す将来の姿 文化・スポーツ、活躍の場づくりの視点 改定素案たたき台 44ページ	「…また、若者や高齢者が、社会の主役として活躍しています。県民は人生を楽しみ、生活に幸福を実感しています。」 → 高齢者はどのような活躍の場があるのか？ 課題・取組の方向性にも具体的に出てこない。たとえば、高齢者雇用の問題は？	【修正します】 ご意見を参考に、以下のとおり施策を整理します(59ページを参照のこと)。 ・ 高齢者の就業や職業能力開発に関する取組 シルバー人材センターなどと連携し、高齢者の就業や職業能力開発を支援します。

No	意見者	該当箇所	意見内容	対応
16	長澤委員	第2章 ふくしまをめざす将来の姿 目指す将来の姿 文化・スポーツ、活躍の場づくりの視点 改定素案たたき台 38ページ	【6/14部会にて】 「…また、若者や高齢者が、社会の主役として活躍しています。県民は人生を楽しみ、生活に幸福を実感しています。」 → どのようなことを意味するのか。また、「高齢者から若者への伝統文化の継承によって、郷土愛を培っていく」といった視点を盛り込み、内容が分かりやすくなるのではないかと。	【参考意見として承ります】 地域活動や経済活動など様々な分野で、主体的に活躍していることをイメージしています。なお、伝統文化の継承については、主要施策として第4章に整理させていただきます。
17	庄條委員	第2章 ふくしまをめざす将来の姿 目指す将来の姿 再生可能エネルギーの視点 改定素案たたき台 45ページ	【6/14部会にて】 「本県を拠点とした再生可能エネルギーの研究と実用化が進展するとともに、関連産業が集積しています。」 → ①具体的にどの分野を示すのか。 → ②相双地域では、長期間食料生産が困難との見通しから、作物をバイオ燃料として活用しようとする構想もあるようだが、県として取り組んでいく予定はあるのか。	①【参考意見として承ります】 再生可能エネルギーの具体的な内訳は、第3章において列挙するものとします。 ②【参考意見として承ります】 高線量地域の農業の将来像については、除染を進め、適地適作により高品質かつ安全・安心な農産物の生産を行うことを基本としますが、長期間食料生産が困難となる場合には、花き生産や養液栽培など放射能の影響を低減する作物や生産方式の導入とともに、委員ご指摘のようにバイオ燃料向けの作物生産も考えられるところです。しかし、バイオエタノールの製造・利用に関しては原料の安定供給や製造コストなど多くの課題を有しており、実用化について地元のご意見等をお聞きしながら、十分検討していく必要があると考えております。
18	山田委員 (瀬谷委員)	第2章 ふくしまをめざす将来の姿 目指す将来の姿 就業・人材育成の視点 改定素案たたき台 45ページ	【6/14部会にて】 「能力の高い人材が多数育成され、県内経済を支えています。また、雇用環境・労働環境の改善が進み、ライフスタイルに合わせた働き方が浸透しています。」 → 原子力発電所の廃炉に向けて、世界の叡智を集めていく、そういった視点からの人材確保の要素を盛り込むべきではないかと。	【参考意見として承ります】 ご意見の趣旨は、第3章・第4章―安全と安心(5)原子力災害対策において整理されています。
19	塩谷委員	第2章 ふくしまをめざす将来の姿 目指す将来の姿 福祉の視点 改定素案たたき台 46ページ	「介護ロボットの実用化などにより、県内全域で効率的な介護サービスの提供体制が確保されています。また、障がい者が十分に能力を発揮できる社会となっています。」 → 「介護ロボット」が最初に出てくるのは違和感がある。課題・取組の方向性の文章には出てこない。あくまでも、介護職を支援した上での「補完」ではないかと。	【修正します。】 ご意見を参考に、以下のとおり修正します。 介護ネットワークの構築や介護ロボットの導入などにより、県内全域で効率的な介護サービスの提供体制が確保されています。
20	塩谷委員	第2章 ふくしまをめざす将来の姿 目指す将来の姿 循環型社会の視点 改定素案たたき台 47ページ	「エネルギー消費の効率化と個人の利便性の追求が調和した社会となっています。また、森林資源の環境価値や経済価値が高まっています。さらに、地球温暖化の影響を低減するための仕組みづくりが進んでいます。」 → 「エネルギー消費の効率化と個人の利便性の追求が調和」とあるが、企業活動はどうなっているのか？ 取組の方向性では、「環境に配慮した経済活動・ライフスタイルの推進」となっており、企業、個人の両方が入っている。	【修正します】 ご意見を参考に、以下のとおり修正します(「個人の」を削除)。 「エネルギー消費の効率化と利便性の追求が調和した社会となっています。また、森林資源が持つ様々な価値が広く理解され、森を大事にする意識が浸透しています。さらに、地球温暖化の影響を低減するための仕組みづくりが進んでいます。」

No	意見者	該当箇所	意見内容	対応
21	久保委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 全体	【6/14部会にて】 課題が全国的な課題と本県特有の課題とに分かれているが、全国的な課題の方が分量が多いのではないかと。もっと本県特有の課題を調査・分析すべきではないか。	【参考意見として承ります】 現行の総合計画では、両者を本県の課題として整理していますが、分かりやすく内容を整理するために、区分けを行っております。 今後の検討の過程で、本県特有の課題が明らかになった場合は、追加して記載させていただきますが、局地的な課題などについては、基本的に本計画の第5章や部門別計画で扱うものとさせていただきます。
22	塩谷委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 人と地域(1)出産・子育て 改定素案たたき台 50ページ	「結婚や離婚は人生の大きなリスク」とあるが、結婚のリスクとは？	【修正します】 ご意見を参考に、「結婚や」を削除します。
23	渡邊委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 人と地域(1)出産・子育て 改定素案たたき台 50ページ	「我が国では、一人親家庭の貧困率が高く、特に母子世帯の場合、母親は低い賃金の非正規雇用に頼らざるを得ない場合が多く、結婚や離婚は人生の大きなリスクとなっています。また、不安定な家庭環境は子どもの成長に悪影響があると懸念されています。」 → 母子家庭に限定した表現は適切ではない。父子家庭の貧困・格差が社会問題になって、平成22年8月児童扶養手当が父子家庭にも支給対象となった法律改正がなされた。	【一部修正します】 ①男性と女性の就業を比較した場合、女性の方が非正規雇用の就業率が高いこと、②父子世帯と母子世帯の平均年収には二倍程度の差があること、③ひとり親家庭の子供の貧困率が高いこと(米国以上)、④母子世帯の平均年収(200万円程度)の場合、働くより生活保護を受給する方が年収が高くなる場合があることなどの事実を踏まえたものであり、原案は父子家庭の貧困・格差の問題を否定した趣旨とはなっていません。 なお、「また、不安定な家庭環境は子どもの成長に悪影響があると懸念されています。」の部分は削除します。
24	塩谷委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 人と地域(2)教育 改定素案たたき台 56～61ページ	「教育」もともと大学等進学率が低い本県においては、若者世代が流出する中で、「人づくり」のためには、県内の高等教育機関で学ぶ生徒・学生に対する本格的な支援が必要ではないか。県の計画とはいえ、「公立大学における人づくりの取組」だけで十分か。県内の高等教育機関との連携が重要と考える。また、震災復興・再建を担う社会人の再教育の視点も必要と考える。	【参考意見として承ります】 社会人を対象とした人材育成は、人と地域(2)だけでなく、活力(4)などにおいても関わる内容と考えられますが、公立大学における人づくりに限定しないように編集に留意してまいります。
25	渡邊委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 人と地域(3)文化・スポーツ、活躍の場づくり 改定素案たたき台 67ページ	「若い世代を中心にボランティア活動の機運が高まっており、社会活動へ参加しやすい環境づくりが課題となっています。」 → 若い世代の長所を述べ、次にすぐ課題の文章ではつながらないし、適切表現ではない。	【修正します】 ご意見を参考に、以下のとおり修正します。また、該当箇所を人と地域(3)から人と地域(4)まちづくり・地域づくり に移動します。 「若い世代を中心にボランティア活動の機運が高まっており、社会活動へ参加しやすい環境づくりが求められています。」

No	意見者	該当箇所	意見内容	対応
26	渡邊委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 人と地域(4)まちづくり 改定素案たたき台 68ページ	「…また、NPO法人は、若年層や高齢者の雇用の受け皿としても期待されます。」 → 若年層から高齢者まで雇用の受け皿…の表現の方が良いと思う。	【修正します】 ご意見を参考に、「若年層や高齢者の」を削除します。
27	渡邊委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 人と地域(4)まちづくり 活力(1)商工業全般 改定素案たたき台 68ページ 改定素案たたき台 90ページ	人と地域(4)まちづくり 「社会起業家の数が増加し…」 活力(1)商工業全般 「起業活動は低迷しています。…」 起業に関する表現が正反対になっている、どっちが正当？	【修正します】 「社会的起業」と一般的な「起業」は定義が異なっておりますが、両者の混同を避けるため、「社会起業家の数が増加し、…」→「コミュニティビジネスが浸透し…」と修正します。
28	塩谷委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 人と地域(4)まちづくり 改定素案たたき台 70ページ	施策「歩いて暮らせるまちづくりに関する取組」 → 「歩いて暮らせるまちづくりに関する取組」とあるが、 <u>自転車交通についてはどのように位置づけているのか？</u> 「環境負荷の少ない自動車」については、循環型社会のところに言及されているが、「自転車」は出てこない。	【修正します】 ご意見を参考に、思いやり(4)循環型社会において、自転車交通に関する記述を追加します(170ページを参照のこと。) ・ 環境に負荷をかけないライフスタイルの浸透に関する取組 もったいない運動、ストップ・ザ・レジ袋運動、自転車利用の促進などにより、環境に負荷をかけないライフスタイルの浸透を図ります。
29	久保委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 人と地域(4)まちづくり 改定素案たたき台 71ページ	前回の意見を踏まえて新に修正された文言ですが「地域コミュニティ活動」とは、どのようなことでしょうか。	コミュニティビジネス、ソーシャルビジネスなどを想定しております。
30	長澤委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 人と地域(4)まちづくり 改定素案たたき台 71ページ	【6/14部会にて】 被災地に様々なNPO法人が入ってきているが、内実が伴わず質に問題のある団体もある。NPO法人の質に配慮しなければ、「支援」は地元にとって逆効果となってしまう。	【参考意見として承ります】 地域の実情などを踏まえながら、今後施策などを検討してまいります。
31	塩谷委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 人と地域(6)避難地域の再生 改定素案たたき台 80ページ	人と地域(6)「 <u>避難地域の再生</u> 」と安全と安心(5)「 <u>原子力災害対策</u> 」の内容はかなりダブルではないか？「故郷への帰還」については、安全と安心(5)「原子力災害対策」に出てくる。	【修正します】 両者の整理をさせていただきます。避難住民の帰還に関する内容は、人と地域(6)の方に整理。

No	意見者	該当箇所	意見内容	対応
32	渡邊委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 活力(1)農林水産業 改定素案たたき台 84ページ	「また、農林業では、耕作地、林地、海が放射性物質に汚染されるなど、広範囲で原子力災害の被害を受けています。」 → 農林水産業とすべき。	【修正します】 ご意見を踏まえて、以下のとおり修正します。 「生産の基盤である農地、森林、漁場が放射性物質に汚染されたことなど、広範囲で原子力発電所事故の被害を受けています。」
33	渡邊委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 活力(1)農林水産業 改定素案たたき台 84ページ	「また、農林水産業では、耕作地、林地、海が放射性物質に汚染されるなど、広範囲で原子力災害の被害を受けています。そのため、食の安全確保、食の信頼確保、PR強化、風評被害の解消、農林漁業者の意欲の維持が課題となっています。」 → 安心・安全とすべき	【参考意見として承ります】 食の安心は、文中の「食の信頼確保」に含まれているものとします。なお、全体的なバランスを考慮し、以下のとおり修正します。 「農林水産物の安全性の確保、消費者の信頼の回復、農林漁業者の意欲向上などが課題となっています。」
34	渡邊委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 活力(1)農林水産業 改定素案たたき台 86～88ページ	取組の方向性 ①安全・安心な農林水産物の提供 ②農業の再生 ③林業・木材産業の再生 ④水産業の再生 →②～④を農林水産業の再生と集約し、最後に木材産業の再生とすると良い。	【参考意見として承ります】 復興計画や部門別計画の整理と同様に、林業と木材産業を一つの項目として整理させていただきます。
35	庄條委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 活力(1)農林水産業 改定素案たたき台 87ページ	【6/14部会にて】 「認定農業者の育成・確保に関する取組」 原子力災害により福島ブランドが地に墜ちている中で、農業の後継者をいかに育てていくのが重要な課題となっている。特に相双地域では大きな問題となっている。認定農業者の育成・確保だけで十分と言えるのか。	【修正します】 ご指摘のとおり、東日本大震災で甚大な被害を受けた本県農業の再生にあたっては、認定農業者の育成・確保だけでなく、認定農業者を中心として、新規就農者、農業法人、集落営農組織、企業の農業参入等地域の実情に応じて多様な担い手を育成・確保していくことが重要であると考えております。 よって、ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 ○大規模経営、効率的営農に関する取組(修正前)→ ○農業経営の大規模化や農業者の組織化に関する取組(修正後) なお、就農者、認定農業者の育成・確保に関する取組、民間企業の農業参入に関する取組については原文に記載のとおりです。
36	塩谷委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 活力(4)就業・人材育成 改定素案たたき台 104ページ	「柔軟な就業形態の普及に関する取組」 → 「柔軟な就業形態」というのは誰からみて「柔軟」ということか。雇用者の立場からすれば、「非正規労働」になりかねない。	【修正します】 非正規雇用を含めない形で、施策内容を以下のとおり整理します。 ・柔軟な就業形態の普及に関する取組 フレックスタイム制、在宅ワークなど、労働者一人ひとりが、それぞれのライフスタイルにあった働き方ができるように、柔軟な就業形態の普及を促進します。また、企業にワーク・ライフ・バランスに精通するアドバイザーを派遣することなどにより、職場風土改善の支援を行います。

No	意見者	該当箇所	意見内容	対応
37	山田委員 (瀬谷委員)	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 活力(5)観光・交流 改定素案たたき台 112ページ	【6/14部会にて】 「会津大学、県立医科大学と海外大学との交流に関する取組」 福島大学など、県立大学以外の大学も含めるべきではないか。	【修正します】 ご意見を参考に、以下のとおり修正します。 ・ 県内大学と海外大学との交流に関する取組 会津大学、県立医科大学などにおいて、海外大学との共同研究、国際単位互換(ICEP)、留学生の交換などを行います。
38	渡邊委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 活力(5)観光・交流 改定素案たたき台 108ページ	「東日本大震災の発生後、本県への旅行者数やツアーは大幅に減少しており、風評被害の解消は喫緊の課題となっています。」 →「喫緊の課題」という表現に疑問。福島県民には分かりにくい表現と思われる。	【修正します】 喫緊の課題という表現は、一般的な表現と考えられますが、ここでは、以下のとおり文章表現を修正します。 「東日本大震災の発生後、本県への旅行者数やツアーは大幅に減少しており、風評被害対策は急務となっています。」
39	塩谷委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 安全と安心(1)健康づくり・健康管理 改定素案たたき台 120ページ	「原子力災害により、県内の広範な地域で、環境放射線量は平常値を上回る状況が続いています。現在のところ健康被害は発生していませんが、県民の多くが放射線の影響に、精神的な不安を抱えています。」 →「健康被害は発生していない」と断言してよいか？現時点での認識もさまざまであり、総合計画を策定してから状況が変化している可能性もあり、慎重な表現に。	【修正します】 ご意見を参考に、以下のとおり修正します。 「原子力災害により、県内の広範な地域で、環境放射線量は平常値を上回る状況が続いており、県民の多くが、放射線の影響に精神的な不安を抱えています。」
40	渡邊委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 安全と安心(1)健康づくり・健康管理 改定素案たたき台 122ページ	取組の方向性「疾病予防と生涯を通じた健康づくり」に連なる施策について 食育に関する取組も追加すべき。	食育に関する取組は施策として記載されております。
41	塩谷委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 安全と安心(2)医療 改定素案たたき台 126ページ	「高齢化の進行に伴って、医療に対する需要が増加しています。しかし、医師の大都市集中の傾向など、医療従事者の地域偏在が進行しており、地方では、公立病院や産科・外科・小児科などを中心に、医師の不足が深刻な問題となっています。」 → 医療に対する需要増加は、「高齢化の進行」だけによるものか？ 本文には、産科・小児科なども出てくる。	【修正します】 「しかし・・・」を「また・・・」と修正し、前後の文章の繋がりを改善します。
42	久保委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 安全と安心(3)福祉 改定素案たたき台 132ページ	【6/14部会にて】 「認知症対策に関する取組」 取組の方向性「介護者の負担軽減」に整理されているが、認知症対策はそもそも高齢者本人の問題でもある。	【修正します】 ご意見を参考に、安全と安心(1)健康づくり・健康管理において、以下のとおり施策を整理させていただきます。 ・ 介護予防に関する取組 介護予防・認知症予防に関する普及・啓発を推進します。

No	意見者	該当箇所	意見内容	対応
43	久保委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 安全と安心(3)福祉 改定素案たたき台 132～137ページ	「福祉」の視点には、高齢者の介護や障がいのある人ひとの自立支援といった事柄しかないということなのでしょうか。非常に狭い事柄だけを取り上げているように思いますが、なぜこのようになっているのでしょうか。	【参考意見として承ります】 現行計画と同様、児童福祉に関する取組は思いやり(2)思いやりと支え合いに整理します。また、一人親家庭に関する取組は、人と地域(1)出産・子育てに整理するものとします。
44	庄條委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 安全と安心(3)福祉 改定素案たたき台 134ページ	【6/14部会にて】 被災者のうち、故郷へ帰還する者は高齢者が中心であり、家族の絆が切れた状態が今後10～20年も続く恐れがある。介護施設の需要が高まっていく可能性もあり、避難地域特有の施策が必要ではないか。	【参考意見として承ります】 避難地域特有の施策については、今後検討させていただきます。
45	結城委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 安全と安心(3)福祉 改定素案たたき台 134ページ	【6/14部会にて】 ①在宅療養を施策として記載していただきたい。本県では、他県に比較して24時間体制の高齢者ケアができていない。 ②被災者の心のケア、県外・県外の被災者のケアの問題についても、施策として記載すべきではないか。	①【修正します】 ご意見を参考に、以下の施策を追加します。 介護保険サービスの提供体制の整備に関する取組 訪問看護支援事業などにより高齢者の在宅療養環境の充実を図ります。また、介護保険外の福祉サービスの提供を促進します。 ②【参考意見として承ります】 思いやり(2)思いやりと支え合いにおいて整理することとします。
46	渡邊委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 安全と安心(3)福祉 改定素案たたき台 134ページ	取組の方向性「障がい者の自立支援」 → 平成24年6月19日障害者総合支援法案が採択され、20日「障害者支援法」が成立。今の障害者自立支援法が改正、名称変更される。 上記から障がい者の自立とか、自立支援の表現には協議が必要。	【一部修正します】 ご意見のとおり「障害者総合支援法」は6月20日に参議院で可決され成立しましたが、その施行に係る詳細は、6月25日現在、まだ明らかにされていないこと、また、「障害者自立支援法」に基づく制度も継続していることから、情報収集に努め、表記に当たってはご意見の趣旨に留意して整理させていただきます。 なお、方向性の名称を「障がい者の日常生活及び社会生活の総合的支援を進めます」と修正します。
47	渡邊委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 安全と安心(4)日常生活の安全と安心 改定素案たたき台 138ページ	「放射性物質による健康への影響の懸念、食品表示の偽装、食中毒の発生などを背景として、食の安全に対する関心が高まっています。」 → <u>食の安心・安全</u> に対する関心が高まっています。と修正すべき。	【修正します】 ご意見を参考に、以下のとおり修正します。 「 <u>食の安全・安心に対する関心</u> ・・・」

No	意見者	該当箇所	意見内容	対応
48	渡邊委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 安全と安心(5)原子力災害対策 改定素案たたき台 144ページ	「県民は、放射線被ばくの不安と向き合うことを余儀なくされており、一日も早い原子力災害の収束、環境の回復が求められています。」 → 環境の回復は生活環境の回復か、それとも放射能環境汚染回復のどっちの表現か？	【参考意見として承ります】 両者を含むものとして整理しています。 なお、全体的なバランスに配慮し、該当部分を「県民は、放射性物質による健康影響への不安をはじめ、さまざまな精神的なストレスにさらされており、一日も早い原子力災害の収束、環境の回復が求められています。」と修正します。
49	長澤委員 (橘委員からも同趣旨の意見あり)	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 思いやり(2)思いやりと支え合い 改定素案たたき台 162ページ	【6/14部会にて】 「被災者を中心に人と人の繋がりの希薄化、孤立が進行しており、新たなコミュニティづくりが必要となっています。」 → 震災から一年を経過し、被災者の中には、疲労感などから精神的に不安定な状態に陥っている者が多数見受けられる。被災者のメンタルケアは喫緊の課題である。	【修正します】 ご意見を参考に、被災者のストレスケアに関する取組を施策として整理させていただきます(164ページ)。
50	久保委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 思いやり(2)思いやりと支え合い 改定素案たたき台 164ページ	【6/14部会にて】 取組の方向性「寛容で、立場の弱い者に優しい社会づくり」 → 全ての人、と表現すべきではないか。	【修正します】 ご意見を参考に、以下のとおり修正します。 「寛容で、全ての人に優しい社会づくりを進めます。」
51	塩谷委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 思いやり(4)循環型社会 改定素案たたき台 176ページ	「電力不足対策の推進」 → 「電力不足対策の推進」と位置づけると、電力が十分にあれば対策をとらなくてもよいということになりかねない。「省エネルギー・省電力」対策の推進」のほうがよいのでは。	【修正します】 ご意見を参考に、以下のとおり修正します。 「省エネルギー・省電力対策を進めます。」
52	塩谷委員	第3章 ふくしまの基本方向 第4章 政策分野別の主要施策 思いやり(4)循環型社会 改定素案たたき台 176ページ	「環境と共生する農業の再生・拡大に関する取組」 → 農業だけではなく、農林水産業(第一次産業)に拡げてもよいのでは。	【修正します】 ご意見を参考に、以下のとおり修正します。 「環境と共生する農林水産業の再生・拡大に関する取組」
53	渡邊委員	その他総合計画の見直しについての意見	パブリックコメントや子どもの意見聴取については、避難県民はもちろん、全県民から意見を求める体制づくりが必要。今までのパブリックコメント募集方法では意見が出にくい。	【参考意見として承ります】 ご意見の内容に十分留意して、作業を進めさせていただきます。

No	意見者	該当箇所	意見内容	対応
54	渡邊委員	その他総合計画の見直しについての意見	総合計画の教育対応は、被災家庭との認定と震災孤児にだけ優遇された教育支援・奨学金対応であるため、今後教育に格差が生まれる。給付型奨学金導入を求め、学びたい者が平等に教育を受けられるようにしなければならない。	【参考意見として承ります】 第4章の人と地域(2)教育において整理させていただきます。 なお、給付型奨学金制度の創設については、平成24年6月13日に文部科学省に要望したところであります。
55	渡邊委員	その他総合計画の見直しについての意見	ひとり親家庭に対する支援、子どもへの支援を福島県として確立させなければならないと思います。	【参考意見として承ります】 第3章・第4章の人と地域(1)出産・子育てを中心に、ご意見の趣旨が反映されるよう施策を整理してまいります。